

No	テーマ	内容	対象者			大学等名称	学部	氏名		問合せ先
			小学生	中学生	高校生					
1	特別支援教育について	教育関係者、保護者、高校生に対して発達障害や特別支援教育について解説	—	—	○	香川大学	教育学部	教授	小方 朋子	香川大学 地域連携推進課
2	学校教育の国際比較—日独比較を中心に—	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	—	—	○	香川大学	教育学部	教授	柳澤 良明	香川大学 地域連携推進課
3	色彩の世界	造形芸術の基本的な要素である「色」は、幼稚園や小学校における造形教育においても基本的で重要な要素となります。本講義では、身近な物品を例にして様々な配色の効果やその表情を紹介し、「色」についての理解を深めます。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	松村 武夫	四国学院大学 入試課
4	教員養成の仕組み	現在の教育職員免許法の構成を中心に、教員免許制度の構造あるいは教員免許状の種類などを簡潔に解説します。また、併せて現在の教員採用の構造や特徴、および現在求められている教員像などについても簡単にお話します。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	元井 一郎	四国学院大学 入試課
5	どうして勉強するのか？	「なぜ、こんな役に立ちそうもない知識を覚えるのか？」「どうしてだれもが勉強しなければいけないのか？」だれもが一度は抱く学校や勉強への疑問に対し、教育学の視点で考察します。あわせて、これからの新しい時代を生きるための勉強の仕方をみんなで考えてみましょう。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	六車 治	四国学院大学 入試課
6	グループ学習で重要なこと —文化歴史的活動理論から考える—	AIIに代替されない仕事の特徴として、人間同士でコミュニケーションをとりながら協同で進めることを挙げることができます。そのため、そうした力を伸ばすために、学校の授業でもグループ学習が増えてきています。そこで、グループ学習において重要なことを、文化歴史的理論を用いてみていきましょう。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	森川 由美	四国学院大学 入試課

7	教育効果の測定と検証：認知能力、非認知能力、環境要因らの役割を統計的に把握する。	教育の分野で日本でも注目されるようになった非認知能力の重要性について説明し、その測定方法をできるだけわかりやすく説明します。また、非認知能力と認知能力の関係を分析した研究を噛み砕いて紹介します。	-	-	○	高松大学	経営学部	教授	松繁寿和	高松大学・高松短期大学 入学センター
8	ぼくたちのメンタルヘルス	メンタルヘルスについて、基本的なことを教える。主な精神障害の紹介。SOSの出し方。これからの生き方のヒント。	-	○	○	高松大学	発達科学部	教授	鈴江 毅	高松大学・高松短期大学 入学センター
9	教職の魅力	現在、教員の仕事の大変さがクローズアップされることが多くなり、教員を志望する人が減少しています。この講義では、講師の、これまでの教員生活における経験をもとに、小・中学校教員の魅力について伝え、ともに考える時間にしていきたいと思います。	○	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	大熊裕樹	高松大学・高松短期大学 入学センター
10	教員志望者のための教育学	なぜ教員志望者は大学で教育学を学ぶのでしょうか。この講義では、そもそも教育学とはどのような学問か、大学で教育学を学ぶことによどのような意義があるのかなどを考えます。	-	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	藤本駿	高松大学・高松短期大学 入学センター
11	のぞいてみよう特別支援教育の世界！ 色々なツールで「多様な学び」を知ろう	障がいのある子どもの学びや育ちを支えるために、ICTツールを用いて、どのように「多様な学び」の工夫ができるのかを紹介します。実際に複数のアプリを体験し、学びの工夫について知ることができます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	教授	山口明乙香	高松大学・高松短期大学 入学センター
12	特別支援教育～気づき、理解し、支える～	生活や学習、友達との関係で「つまずき」や「難しさ」を感じている子どもに対して、どのような支援ができるか一緒に考えましょう。子どもが苦手なことと得意なことの両面から支援を考えることがポイントです。	-	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	塚るり子	高松大学・高松短期大学 入学センター

13	子どもの世界へのアプローチ	子どもにとって、遊びとはどのような意味を持つのか？子どもが遊びの中で見せる姿をどのように理解するのか？子どもの遊びを育むための環境整備の基本はどのようなものなのかを考えます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	教授	松原勝敏	高松大学・高松短期大学 入学センター
14	子どもの遊びを体験してみよう！～遊びからわかる保育の楽しさ～	子どもは遊びの中で多くのことを学びながら成長します。身近な素材を使った遊びを実際に体験しながら、子どもが遊びの中でどのように育つのか、保育者はどのように関わるのかについて、保育の楽しさを感じながら学びましょう。	○	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	川口めぐみ	高松大学・高松短期大学 入学センター
15	保育の魅力発信	若い世代に保育の仕事を手近に感じてもらう機会になるよう、保育の職場で働くことのイメージづくりや幼児教育界への興味・関心を高めることを目的として、現場経験のある講師が、保育の楽しさ・魅力を発信します。	○	○	○	高松大学	発達科学部	講師	坂野貴子	高松大学・高松短期大学 入学センター
16	子育てする保護者を知ろう	乳幼児を育てている家庭の様子を紹介します。困っていることや保護者が求めている支援を知り、保護者のことを理解しましょう。あなた自身が親になることも想像できるかもしれません。	○	○	○	高松短期大学	保育学科	教授	田中弓子	高松大学・高松短期大学 入学センター
17	お話し上手な保育者になろう	保育の中では、子どもたちに様々なお話をします。絵本や紙芝居などを使うこともあれば、自分の手の動きや、さらには何も使わずに語ることもあります。いつでもどこでも、子どもたちとお話が楽しめる保育者としての話術を体験してみましょう。	○	○	○	高松短期大学	保育学科	准教授	佐々木利子	高松大学・高松短期大学 入学センター
18	保育の最新事情——保育の世界でどんなことが起きているのか	こども家庭庁の設立、配置人数の見直し、「こども誰でも通園制度」の開始など、保育の仕組みがどんどん変わってきています。本講座では、保育の世界でどんな変化が起きているのかを講義します。（※トピックの要望がある場合は、依頼の際にお知らせください。）	-	○	○	高松短期大学	保育学科	准教授	相馬宗胤	高松大学・高松短期大学 入学センター

19	子どもたちの心の中を探ってみよう！	子どもの言動の奥にある思いを知ることは、なかなか容易ではありません。そこで、様々な人と意見交流しながら、子どもの立場に立って視点や角度を変え、心の動きや行動の意味を探ってみましょう！	-	-	○	高松短期大学	保育学科	講師	有馬則子	高松大学・高松短期大学 入学センター
20	社会への一歩！ 職場体験・インターンシップで何をする？	保育現場での職場体験やインターンシップを、より楽しく充実したものにするためのお手伝いをします。事前におきたいことを考えたり事後の振り返りをしたりしながら、一緒に保育の魅力がたくさん見つけましょう！	-	○	○	高松短期大学	保育学科	講師	有馬則子	高松大学・高松短期大学 入学センター
21	遊びから学ぶ、子どもたち	「幼稚園や保育園の子どもたちは、ただ遊んでいるだけでは？」そんな風に思ったことはありませんか。実は、この時期の子どもにとって遊びはとても重要だと言われています。では、なぜ遊びが大切なのでしょう？本講義では、子どもたちが実際に遊んでいる事例を基に解説するとともに、グループワークを通して一緒に考えていきます。	-	○	○	高松短期大学	保育学科	講師	森本将行	高松大学・高松短期大学 入学センター
22	指人形、布、手作り布おもちゃ、エプロンシアター、絵本を使って遊ぼう	保育現場で使用している教材の演じ方や効果について紹介します。年齢に合わせた遊び方を紹介し、教材を通して触る、見る、演じる楽しさを体験しましょう。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第三部	教授	安藤千秋	香川短期大学入試センター
23	子どもの遊び動画から発達を知ろう	年齢により遊び道具や遊び方、人のかかわり方に違いがあります。年齢に応じた遊び動画から子どもの身体や心の発達を学びましょう。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第三部	教授	安藤千秋	香川短期大学入試センター
24	手遊びの楽しさを知ろう	幼児期の手遊びは、言葉の発達や人のかかわり方、身体の部分表現や全身表現など、楽しみながら学べる遊びです。声や音に合わせて動く表現は脳の活性化に効果的です。楽しい手遊びを体験しましょう。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第三部	教授	安藤千秋	香川短期大学入試センター

25	子どもの世界をのぞいてみよう	子どもの世界は大人とはちがう独特な世界です。その世界を理解することは案外むずかしいことなのですが、とても興味深いこともあります。子どもの気持ちや発達について知るために、子どもたちの好きな遊びを実際に体験してみましょう。	—	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	松下由美子	香川短期大学入試センター
26	童謡の弾き歌いをしてみよう	ピアノの基礎を学び、幼稚園や保育所で歌われている季節の童謡を弾きながら楽しく歌いましょう。(ロールアップピアノ使用)	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	渡辺理香	香川短期大学入試センター
27	童謡・唱歌を歌おう！	幼稚園や保育所で歌われている季節の童謡や唱歌を楽しく歌いましょう。身体を使って正しい発声を学び、自然で無理のない声で歌ってみましょう。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	渡辺理香	香川短期大学入試センター
28	じゃんけんを通して子どもの発達を見てみよう	いろいろな場面で用いるじゃんけんですが、子どもにとってじゃんけんができるようになるとはどのような意味があるのでしょうか。じゃんけんという子どもの遊びを通して子どもの発達、特に身体的発達と認知的発達について考えてみましょう。	—	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	林美代	香川短期大学入試センター
29	保育教材を作ってみよう	保育現場で使用されているペープサート、スケッチブックシアター、パネルシアターなどの保育教材作りを体験してみましょう。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	林美代	香川短期大学入試センター
30	保育室の環境構成について考えてみよう	子どもたちが過ごす保育室には、様々な物が配置されています。その配置にはそれぞれ意味があり、活動に応じて考えられています。保育室の環境について具体的な場面(製作活動、ゲーム、片づけなど)を想定しながら、子どもが主体的に活動できるような工夫について考えてみましょう。	—	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	林美代	香川短期大学入試センター

31	保育者を目指しているみなさんへ送るメッセージ	「保育者って子どもと遊んでいるだけでいいよね」などと思う方がいます。違います。保育者はその子の背中を見て、その子が何を言おうとしているのか、何をしようとしているのかが分かるのです。具体的な事例や教材・教具などを体験しながら考えてみます。	—	—	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	戸井 和彦	香川短期大学入試センター
32	配慮を要する子にやさしい教材の活用を考える	「ソーシャルスキルカルタ」「アタマ元気どこどこ」「ぱつと行動支援カード」「アングートレーニングキット」などの小学校向けに開発された教材が大きな話題になっています。ここでは、実際にこういった教材を体験していただき、どういった場面で活用するといったのか、なぜ効果があるのかなどを学びます。	○	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	戸井 和彦	香川短期大学入試センター
33	保育者の専門性	保育者の専門性は、単に「子どもが好き」「子どもと遊ぶのが上手」といった個人的な資質に留まるものではありません。保育者の仕事内容や専門性について具体的に解説したいと思います。	—	○	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第Ⅲ部	教授	成木 智子	香川短期大学入試センター